

## 熊谷市ムサシトミヨをまもる会、 熊谷市立佐谷田小学校、熊谷市立久下小学校、 熊谷市立熊谷東中学校



熊谷市ムサシトミヨをまもる会生息地清掃活動



熊谷市立熊谷東中学校の活動

所 在：熊谷市

構成員：46名（まもる会）、  
54名（3小中学校）

まもる会は、ムサシトミヨに興味をもち、ボランティアで保護活動をしてみようという60歳以上の人たちを中心とした熊谷市の地元住民で構成しています。河川の除草や見学者への説明、生息地の案内など行っています。

また、地域の住民にムサシトミヨを守ろう、環境について考えようという意識を醸成するために、熊谷市内の3つの小中学校と協力してムサシトミヨの繁殖活動を続けています。

### 次世代までムサシトミヨがすめる環境を守ろう

～世界で熊谷だけに生き残った「清流のシンボル」、「郷土の宝」ムサシトミヨの守り人として、保護活動を30年もの間地道に続けています～



#### 受賞の主な取組

- ・世界で熊谷市にしかいない絶滅危惧種「ムサシトミヨ」を守るため、生息地の清掃、見学者への説明や生息地の案内、各種イベントでのムサシトミヨの展示や紹介等を実施。
- ・熊谷市内3つの小中学校と連携し繁殖活動や繁殖数を確認する越夏調査実施。
- ・繁殖活動や清掃活動の結果、ムサシトミヨの生息数が増加。

## 取組をはじめたきっかけ

ムサシトミヨと初めて出会った時の印象は、暗褐色でうろこがなく、背中に8～9本の棘がある「こんな魚」かと思いました。しかし、水温が低い清流に棲み、水質の悪化などにより絶滅の危機にさらされていることを知った時、将来の地球にとって、何か大切なものがあると感じました。

昭和62年に「ムサシトミヨをまもる会」を結成し、絶滅の危機から救うために、河川周辺の環境整備、水草の整備、繁殖活動などの取組を始めました。

## これからの展望

熊谷市は下水道整備が進んでいません。私たちは、水質改善を図るため、アクリルたわしを使い、洗剤を使わない運動を推進していく予定です。生息地へ生活排水の入らないよう、う回路の設置などを地道に行政（県・市）へ訴えていきます。

今後もムサシトミヨが安心・安全に住める環境づくりに努力し、次世代へ繋げていきたいと考えております。



熊谷市立佐谷田小学校の活動



熊谷市立久下小学校の活動

## 受賞して



ムサシトミヨは、現在「県の魚」や「熊谷市の魚」に選定されています。

平成23年度には、ムサシトミヨの保護を目的に、単独浄化槽を合併浄化槽に転換する際に住民の負担軽減を図るため、生息地が環境保全特別転換地区に指定されました。

平成24年には、まもる会設立25周年を迎え、熊谷市の「くまがや環境賞」を受賞しました。この度は「さいたま環境賞」を受賞することになり夢のようです。このことを励みに身を引きしめ、地元の人々、地元の小中学校3校と一緒に守り人として保護活動を根気よく地道に続け、次世代へ繋げていきたいと考えております。